



主要作物から マイナー作物まで!

幅広い作物・病害の防除に!

殺菌剤

アフエット® フロアフル



野菜の主要病害からマイナー病害まで*

*適用作物名及び適用病害名については、裏面の適用表、ラベルを確認してください

 トマト	 豆類	 キャベツ	 レタス	 いちご	 きゅうり
 灰色かび病		 菌核病		 うどんこ病	
 たまねぎ	 ねぎ	 ねぎ	 はくさい	 ブロッコリー	
 灰色腐敗病	 黒腐菌核病	 白絹病	 黒斑病	 黒すす病	

アフエットは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○空容器などは園場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記載しましょう。

※本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載以外には使用しないでください。

※本印刷物は2026年2月現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。



アグロ カネショウ株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-3

1 幅広い病害スペクトラム

うどんこ病、灰色かび病、菌核病のみならず、葉かび病、つる枯病、すすかび病に対しても、優れた効果を示します。

2 既存薬剤耐性菌に有効

既存薬剤耐性菌（ストロビリリン系薬剤耐性菌やジカルボキシイミド系薬剤耐性菌等）に優れた効果を示す殺菌剤です。

3 優れた予防効果

分生胞子の発芽阻害に優れるため、発病前から発病初期の予防的散布が効果的です。また、胞子形成阻害作用が強く、二次感染の防止も期待できます。

4 収穫前日まで使用可能

多くの作物で、収穫前日まで使用可能。幅広い時期でご活用いただけます。

■ 適用病害および使用方法 (2026年2月現在)

太字箇所：2026年1月21日適用拡大【作物の追加】みしまさいこ：斑点病【適用病害の追加】食用ぎく：黒さび病

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンチオピラドを含む農薬の総使用回数
キャベツ	株腐病、根朽病、菌核病 灰色かび病	2000	100~300g/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
はくさい	菌核病、黒斑病 白斑病、尻腐病						
はなやさい類	黒すす病、根朽病 菌核病						
きゅうり	灰色かび病						
すいか	菌核病、うどんこ病						
メロン	うどんこ病	2000~4000	100~300g/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
トマト	灰色かび病、菌核病 葉かび病、すすかび病 斑点病	2000					
ミニトマト	うどんこ病	2000~4000	100~300g/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
ピーマン	灰色かび病、黒枯病 斑点病	2000					
なす	菌核病、すすかび病 褐色斑点病、褐色円星病	2000	100~300g/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
ししとう	灰色かび病 うどんこ病						
かぼちゃ	黒枯病、斑点病						
にがうり	うどんこ病						
ズッキーニ	うどんこ病						
オクラ	灰色かび病、うどんこ病						
いちご	輪斑病、黒色根腐病						
しょうが	白網病						
らっかせい	白網病、褐斑病						
豆類 種実、ただし、 だいず、らっかせい いんげんまめを 除く	灰色かび病、菌核病 さび病						
豆類 未成熟、ただし、 えだまめ さやいんげん を除く	うどんこ病						
だいず	うどんこ病						
いんげんまめ	灰色かび病、菌核病 さび病、角斑病						
レタス	灰色かび病、菌核病 すそ枯病、白網病						
非結球レタス	白網病、黒腐菌核病						
にら	白網病、黒腐菌核病	1000~2000	0.5~1g/m ²	2回以内	2回以内	株元 灌注	2回以内
にら(花茎)	白斑葉枯病、さび病 白網病	2000	100~300g/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	3回以内
エンダイブ	すそ枯病	2000	100~300g/10a	生育期 但し、収穫 14日前まで	2回以内	株元 灌注	4回以内 (種球塗抹は 2回以内、 散布及び 無人航空機散布 は合計2回以内)
ねぎ	白網病、黒腐菌核病	1000~2000	1g/m ²	生育期 但し、収穫 14日前まで	2回以内	株元 灌注	4回以内 (種球塗抹は 1回以内、 散布は 3回以内)
たまねぎ	白網病、さび病、黒斑病 葉枯病、小菌核腐敗病 小菌核病	2000	100~300g/10a	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
アスパラガス	灰色かび病、灰色腐敗病 小菌核病、黒腐菌核病						
にんにく	黒腐菌核病	原液	種球 重量の 0.5~1.0%	種球塗抹	1回	種球塗抹	4回以内 (種球塗抹は 1回以内、 散布は 3回以内)
セルリー	斑点病、菌核病	2000	100~300g/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンチオピラドを含む農薬の総使用回数
しゅんぎく	葉枯病	2000	100~300g/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	3回以内
にんじん	黒葉枯病、白網病 うどんこ病 菌核病、斑点病						
パセリ	うどんこ病						
しそ	灰色かび病、斑点病						
しそ(花穂)	菌核病						
つるな	紋枯病						
未成熟とうもろこし	紋枯病						
小麦	赤さび病	60~150g/10a	100~300g/10a	収穫14日 前まで	3回以内	3回以内	
てんさい	根腐病	200~400	ペーパー ポット 1冊当たり1g (3g/m ²)	移植前	1回	苗床 灌注	4回以内 (苗床灌注は 1回以内、 散布は 3回以内)
	葉腐病	100~300g/10a	100~300g/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	3回以内
小粒核果類 もも ネクタリン	黒星病、灰星病	2000	200~700g/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
おうとう	灰星病、幼果菌核病						
なし	黒星病、赤星病 うどんこ病						
ぶどう	灰色かび病、晩腐病 黒とう病、褐斑病 うどんこ病、さび病						
りんご	黒星病、赤星病 褐斑病、うどんこ病 斑点落葉病 モノリア病、黒点病 すす点病、すす斑病						
かんきつ かき	灰色かび病、そうか病 落葉病						
食用さくら(葉)	うどんこ病 せん孔褐斑病						
食用ぎく	白さび病、灰色かび病 うどんこ病、黒さび病						
さく	白さび病、灰色かび病 うどんこ病、黒さび病						
ゆり	葉枯病、灰色かび病 うどんこ病						
チューリップ	褐色斑点病、灰色かび病 うどんこ病						
りんどう	灰色かび病、うどんこ病 花腐菌核病 褐斑病、黒斑病						
花き類・ 観葉植物 さく、ゆり、 チューリップ、 りんどうを除く	灰色かび病、うどんこ病						
あじさい	うどんこ病	200~400g/10a	100~300g/10a	発病前~ 発病初期	3回以内	散布	3回以内
とうき	苗立枯病	500~1000	セル成型育苗 トレイ1箱 または ペーパーポット 1冊*1当り 0.2g	育苗期	5回以内	灌注	5回以内
どくだみ	白網病	2000	1~3g/m ²	生育期 但し、収穫 14日前まで	2回以内	株元 灌注	2回以内
どりかぶと(薬用)	白網病	1000	1g/m ²	生育期	3回以内	株元 灌注	3回以内
みしまさいこ	斑点病	2000	100~300g/10a	生育期	6回以内	散布	6回以内
たばこ	菌核病	2000	100~180g/10a	収穫10日 前まで	2回以内	散布	2回以内

*1: 30×60cm・使用土壌約1.5~4.0g *2: 1年間に3回以内

安定した効果のためには予防的にお使いいただくことをお勧めします。 薬剤耐性菌の出現を避けるため、作用性の異なる薬剤との輪番でお使いください。

△ 効果・葉害等の注意

- 使用量に合わせた液量を調整し、使い切ってください。
- 使用前によく振ってから使用してください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の適度の運用は、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- ぶどうの幼果期(小豆大)以降の散布は、果粉が溶脱するおそれがあるので使用をさけてください。
- にんにくの種球に塗抹する場合は、処理後、風乾した後に種付けを行ってください。
- ハウス等で常温煙霧に使用する場合は以下の注意事項を守ってください。

○ 常温煙霧中は室内へ入らないでください。
○ 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用にあたっては、病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
○ 作業はできるだけ夕刻行い、作業終了後6時間以上密閉してください。できれば翌朝までそのままし、開放後十分換気してから入室してください。
● 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用し

△ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗って落としてください。
- 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- 塗抹の際は不浸透性手袋などを着用してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養魚池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。保管: 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温場所に密栓して保管してください。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の指導を受けてください。皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の指導を受けてください。